

令和7年度 岐阜県剣道連盟居合道審査会 学科試験問題

初 段 ～ 三 段

1. 『居合道の理念』と『居合道修練の心構え』を記せ。
2. 日本刀(刀身及び拵え)を図示し、各部の名称を合計15箇所以上記せ。
3. 全剣連居合の一本目から十二本目までの業前名を正しく記せ。
4. 『残心』について説明せよ。
5. 『気・剣・体の一致』について説明せよ。

四 段 ・ 五 段

1. 『平常心』について説明せよ。
2. 『手の内』について説明せよ。
3. 『守破離』について説明せよ。
4. 全日本剣道連盟居合の一本目『前』の『要義』並びに『審判・審査上の着眼点』を記せ。
5. 居合道試合・審判規則によれば、勝敗の決定は、『正しい礼法・作法による、充実した氣勢と適正な姿勢をもって、正確な技術と刀法に基づいた気・剣・体一致の技前と心構えの優劣によって、勝敗の判定を決定する。』とあるが、その細則にある『勝敗の判定基準の諸点』を記せ。

初～三段 1～5問 レポート提出
四～五段のみ、上記の中から3問出題する。